

超 我 の 奉 仕  
SERVICE ABOVE SELF



# IBARAKI ROTARY

## Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881  
 例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121  
 会長/秋山 勤 幹事/松尾康弘 会報委員長/橋谷建郎 委員/野田 倉内  
 姉妹クラブ: 台北 西北区 扶輪社  
 双子クラブ: インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No.39 平成18年 5月17日

本 日 の 卓 話  
5月17日(水)  
「米寿を迎えて・生涯青春」  
橋本 淳 会員

### 出席報告

第2281回例会			前々回(第2279回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
32(8)	18	6	75%	4	83.33%

### 例会記録

第2281回例会 5月10日(水)雨  
 国歌「君が代」斉唱  
 ロータリーソング「四つのテスト」斉唱  
 ビジターご紹介  
 角谷真枝さん(茨木西RC)

5月会員誕生 秋山、中村、笠原  
 5月配偶者誕生 橋本芳子、中西郁子  
 5月結婚記念 田中、中西、菊山、河原崎  
 5月入会記念 橋本(陽)、木本

### 会長の時間

秋山 勤会長

例会が一回飛ぶと、久しぶりに皆様に会えたような感じです。皆様それぞれに連休を有意義に過ごされたこととおもいます。私は例年のことながら、春の連休にしか停止できない設備の点検に追われていました。

5月は、珍しくRIの月間強調事項はありません。ガバナーメッセージでもロータリーの基本的なことを理解しようと四つのキーワードを挙げて呼びかけておられます。

1. ロータリー



誕生祝い

2. クラブ
2. 職業
3. Service (奉仕)

これらを借用しながら、会長の時間を進めさせて頂きたいと思います。

1番目のキーワード、「ロータリーについて」  
 1905年ポール・ハリスは4人で会員間の親睦と相互扶助を目的にロータリークラブを創立、1906年ドナルド・カーターが地域社会の福祉に貢献することを提案、シカゴの町に公衆便所を設置したことが社会奉仕 Community service 始まりです。1911年、ベンジャミン・コリンズが「Service, not self」を提唱、1913年頃「Service above self」と変更されました。

1908-1913年アーサー・シェルドンが「He profits most who serves best」を提唱、1927年頃職業奉仕 (Vocational service) と名づけられ、今日に続いています。

1910年、ジェスリー・ペリーは、16RCでロータリー連合会を設立、クラブが主役の原則を確立しました。ロータリー創立10年後の1915年には、12000人の会員を擁するまでに成長しました。1932年、ハーバート・テイラーがThe Four-Way(四つのテスト)を提唱しました。

1927年、アーチ・クランフはロータリー財団を設立、1947年のポール・ハリス死去の記念募金には130万ドルがあつまりました。そして、第2次大戦後のロータリーが世界的拡大を続ける原動力となりました。

また創立当初からルールとして、例会への出席義務、クラブ内で一定の役割分担義務、一業種一会員制限等のロータリーを特徴づける制度が最近まで厳格に続けられて来ました。

今日はこの位にして、以下のキーワードは次の機会に譲りたいと思います。

今月のこれからの予定ですが、17日は、久しぶりに橋本淳会員が来られ、卓話して頂けるので楽しみに待ちたいとおもいます。31日は、東大阪みどりRCから、邦文「ロータリーの綱領」について研究されたことを卓話して頂くことになっています。規定審議会に上程しようと勉強されたことですが傾聴に値するとおもいます。

## 幹事報告

松尾康弘幹事

### 1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) 米山カウンセラー委嘱状と米山奨学生の世話依頼について (簡カウンセラー)
- 2) 次年度地区委員会委員推薦依頼  
WCS委員会委員に簡会員  
米山奨学委員会委員に笠原会員
- 3) RACリーダーシップフォーラム新人研修会の案内 6/11(日)  
於: イスタントラ-の発明記念館イベントホール
- 4) 地区RACニュースレター「ろくまる・探検隊」
- 5) 虹-ブ・ロータリー-ニュース「次期政権の外交課題と日米関係」開催の案内  
6/26(月) 13:00~15:00  
於: 大阪国際会議場12階(詳細は掲示板)

### 2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 茨木市国際親善都市協会ゴルフコンペ実行委員推薦依頼(大会は9/4・笠原会員に快諾)
- 2) 交通事故をなくす運動茨木市推進本部総会の案内 6/8(木) 於: 南館

### 3) 台北西北、千里、高槻西RCより会報 3、第11回理事会報告は会報に掲載

## 委員会報告

### 親睦活動委員会

山田慶子委員

「新旧引継懇親会」の案内

日時: 6月21日(水) PM6:30~

場所: 摂津富田「金鍋」

### 国際奉仕委員会

笠原隆之助委員長

「インドネシア訪問」

日時: 6月26日(月)~7月2日(日)

参加者: 秋山、笠原、久保、長澤

## 卓話

### 「茨木の観光への取組み」

野田征夫会員

#### 1. 今、なぜ観光か?

- ・海外旅行者は、年間およそ1800万人、そして、日本を訪れる観光客は500万人と1/4以下です。
- ・観光事業は、観光収入が4500億円強に対し、波及効果が大きい。関連する産業は、交通・宿泊・飲食・ショッピング・レジャーなど多岐に亘る。10年前のデータでも、総消費額は、およそ20兆円、直接・間接の合わせた生産効果は48兆円になる。また、雇用の面では、直接・間接合わせ410万人の雇用が発生。
- ・政府は、観光立国を目指し、積極的な取組みをはじめた。そして、大阪府でも観光客の誘致に、積極的な展開を始めた。茨木市の近隣3市は、観光事業に取組み、高槻市が56年、箕面市や池田市も20~30年になる。平成不況は止まったというものの、景気の実感はない。地域産業の振興と地域の活性化のためには、新しい取組みが必要。そこで、近隣3市と環境の変わらない茨木でも、観光に取組むことには、何ら問題はないと考える。
- ・茨木は、昔から交通の要衝の地であり、縄文時代以来、永い歴史を有するまちです。歴史的文化遺産や文化財、また、多くの著名人も輩出している。
- ・伝統文化や産業の定着など、観光事業を取組むまちとしての環境は十分。



## 2. 観光協会設立の経過

- ・平成13年、当時の茨木商工会議所の蓮池会頭に観光事業に取り組むことを提案。会議所の議員総会において、承認を受け、「検討委員会」を立ち上げる。
- ・平成14年、蓮池会頭に『茨木に観光協会が必要』である旨の答申を提出。
- ・平成15年、蓮池会頭から山本市長に『要望書』を提出。茨木市の同意を得て、設立準備委員会を発足。平成16年、設立委員会に昇格。
- ・平成17年4月、茨木市観光協会を発足。

## 3. 茨木の観光事業を取巻く環境

- ・茨木市は、古くから沢山の街道が通るなど「交通要衝の地」であった。近年、交通網の整備により、名神高速道路をはじめ近畿自動車道、中国縦貫自動車道のICが市内にできた。また、JR茨木駅には快速電車が停車するようになったことや、阪急電車の駅が市内3カ所設置されたほか、将来、関西国際空港 大阪空港間を結ぶモノレールの駅が市内に2カ所できるなど、国内だけでなく、海外への利便性も非常に高まった。
- ・中心部は都市化が進んでいるが、北部は自然環境豊かな山間部、南部は田園を残すゆとりの空間という素晴らしい環境のまち—茨木。
- ・都市化とは裏腹に、茨木は、縄文時代からの古い歴史のあるまち。遺跡や古墳をはじめ、西国街道郡山宿の「椿の御本陣」や西国2番札所の『総持寺』、『隠れキリシタンの里』など至る所に文化財が点在している。また、安藤忠雄氏が設計した「光の協会」は、地元より海外や建築界では、誰もが知る有名な建築物。  
蔵書で西日本一を誇る『市立中央図書館』や椿をはじめ1万本の樹木が移植された『椿山』、春は桜、夏は花火で賑わう『弁天宗大阪本部』、見山地区の農産物を一手に引受ける『見山の郷』など

も観光資源であろう。

- ・催し物としては、歴史のある茨木にふさわしく多くの神社やお寺があり、「山車や御輿」などの伝統的な祭礼行事が催されているほか、「茨木フェスティバル」や「桜まつり」、秀吉ゆかりの「黒井の清水大茶会」や「農業祭」なども催されている。

## 4. 今後の取組み

- ・これまでの催しや各種の施設・史跡の見学は、市民の活動の範囲。
- ・今後は、伝統的な催しと新しいイベントとの組合せを考えるとともに、イベントと施設を有機的に結合し、魅力ある事業の展開を図る必要。また、茨木には、沢山の高校や大学があり、学者や文化人も沢山住んでいる。
- ・その他、音楽家や芸術家も多数住んでいるが、活躍の場があまりない。文化人や芸術家などの活動などの場を提供することで、講演会やシンポジウム、コンサートなどの新しいイベントの取組みが可能になるのではないかと。例えば、コンサートといっても、市庁舎の玄関ホールでのコンサートや古い倉庫や工場・空き店舗・ゴルフ場などでのミニコンサートなど色々なイベントが考えられる。
- ・また、観光も最近はその様相を変え、「産業観光」や「体験観光」などのように、これまでの見るだけから参加する形をとるものも増えてきた。
- ・茨木には、山間部には、山林をはじめ、現在、人気の「棚田」も沢山ある。農業や里山活動の体験も十分可能である。
- ・そして、現在進められている彩都や安威川ダムも観光資源としては、見逃せない。積極的に、われわれの要望を伝えていきたい。

## 5. 課題

- ・文化財・施設・イベント・文化人など多くの観光の要素が揃っているが、これまでほとんど取組まれていないので、意識付けが必要になっている。
- ・また、市民もあまり地域に関心がなく、また、文化への取組みが少かったため、素晴らしい観光資源も埋もれたままであった。さて、取り出すとなると、調査から始まり、資源本体と周辺環境の整備が必要になってくる。
- ・結果的に、大変な時間と費用が掛かる。行政にすべてを負担させるには、財政的にも人材的にも無理がある。市民ではより難しい。
- ・また、観光事業に取り組むには、茨木の何を“目玉”

にするか、まだ決っていない。素晴らしいものは多いが、特別なものとなると京都や奈良などのように、それだけで人が呼べるというものがない。  
・是非とも皆さんの英知と暖かいご支援をお願いしたい。

## ニコニコ箱

配偶者誕生を記念	橋本（秀）	中西
結婚記念		中西
本日掛谷さんにお借りした本「ウルトラダラー」 をお返しにきました。新札3千円が怪しいので茨木さんに納めさせて頂きます	角谷（茨木西）	
本日私の誕生日で64才になりました。今後とも宜しく願いします		笠原
名古屋で長澤さんにお世話になりました		笠原
ゴールデンウィーク孫と楽しい時間を過ごしました		多田
朱先生にお世話になりまして		吉田

本日計      24,000円

累計 1,735,046円

## 次回卓話

「5分間スピーチ」

高島、大森、河原崎、戸川各会員

【メモ】

